

事務取扱担当者様

(公財) 中村積善会

2022年度奨学生推薦取扱について(給費奨学金)

(給費併用型貸費奨学金の募集はありません)

下記に、当法人推薦に関する事務取扱の要領を示しましたので、奨学規程・推薦基準等他の書類と合わせ、下記の点に特に留意の上ご推薦下さいます様よろしくお願い致します。

なお、当法人ホームページ(中村積善会公式サイト)を開設しておりますので、Q&A等参考になさってください。奨学生推薦書・願書をダウンロード(パソコン入力可能)出来ますので不足の場合はご活用下さい。

◎学生配布用として、「パンフレット」を同封致しましたので、学生に配布の程よろしくお願い致します。

記

◎ 今年度より月額(全課程)が 50,000円になりました。(旧 40,000円)
2021年度以前に採用になりました給費奨学生も一律50,000円になります。

1. 推薦学生について

- ・各課程(博士・修士・専門職大学院・大学学部)の最短修業年限支給致します。
研究生・短期大学・高校等は対象外になります。
- ・留学生を推薦する場合は、私費留学生に限ります。
- ・国内生・留学生を問わず、10月入学者も推薦できますが、最終学年の方は対象外になります。

2. 他の奨学会との併用は可能です。

3. 推薦書は当法人指定の様式のものを使用し、大学長又は学部長等の推薦を受けて下さい。

出願者多数の場合は、推薦人員に選考の上推薦して下さい。

(推薦人員を超えての推薦はご遠慮願います)

※ 推薦者がいない場合は、お手数ですが文書により回答をお願い致します。

4. 奨学生願書について

- ・大学担当者(本部)の部・課・係・氏名の欄は、担当者の方が必ず記入して下さい。(記入洩れのないようお願い致します)

5. 出願書類について、

- ・当法人の選考の結果不採用となった場合、提出書類はお返し致しません。

6. 採用後について、学生本人が当法人奨学金の受給の有無を確認書に記入し、学校でとりまとめ当法人に提出していただきます。

(奨学期間中の提出書類については、当法人より本人宛送付致します)

(問合せ先) Tel 03-3573-6171 (月～金) 8:30～15:30 担当; 横倉・小林・岡部

給 費 奨 学 生 推 薦 基 準

公益財団法人 中村積善会

給費奨学生の推薦は、教育の機会均等の趣旨を尊重し、以下に記す基準、留意点に沿って審査し、適当と認められる学生を選考の上、当法人の指定人員をご推薦下さい。

その他、家計状況等の詳細および総合判断は、日本学生支援機構の各課程の推薦基準に準じて下さい。

1. 資 格

- (1)日本国内の大学(学部)・大学院(博士・修士・専門職)に在学(当法人の奨学金募集大学)する日本人学生及び海外からの留学生(在留資格が「留学」とある者)
- (2)優秀な学生で経済的理由によって修学の困難な者
- (3)留学生は私費留学生である者
- (4)学長等の推薦を受けた者
- (5)次の者は資格がない
 - ア. 出願時の年齢が40才を超えて在学する者
 - イ. 勤務先から派遣されて在学する者
 - ウ. 学業に支障のあるような定職又はアルバイトに従事している者
 - エ. 10月入学者で最終学年の者

2. 人 物

(1)推薦奨学生

- ・自主的向学心に富み、学習活動その他生活全般を通じて態度、行動が学生にふさわしく、将来良識ある社会人として活動し、国家社会に貢献し得る素質の見込みがある者
- ・学校の内外を問わず、規律・規範を重んじ、勉学態度および行動が良好である者

(2)不適格者

- ・過激的な思想・言動者、利己的、虚偽および無責任等道徳的悪傾向のある者
- ・現在の生活・就学態度からみて将来奨学生としての資格を持続できるか否か疑わしい点がある者

3. 学資の支弁が困難な程度(家計)

日本学生支援機構の第一種奨学生対象の各課程の基準に準じて審査(計算)し、その基準内であること

4. 学力および素質

| | | |
|------|----------------|---|
| 大学学部 | 1年在学者 | 入学前直近の学校の、その属するクラス・学年または学部(科)における学業成績が平均水準以上である者 |
| | 2年以上 に在学する者 | 出願時に在学する学年の前年までの、その属するクラス・学年または学部(科)における学業成績が平均水準以上である者 |
| 大学院 | | 大学ならびに大学院における成績が特に優れ、将来高度な社会人・職業人として活動する能力があると認められる者 |

5. 家族等の教育に対する関心度

学生が学業半ばで挫折または不本意ながら退学する事態にならないためには、教育に対する親・家族または保証人の高い理解と、精神的な援助を行うことが不可欠ですから、この点も考慮した推薦をお願いします。

6. 推薦順位

当法人指定の人員を選考し、次の優先度を考慮して推薦順位を付して下さい。

- (1)上記2に掲げる「人物」評価
- (2)学資の支弁が困難とされる家計状況、親・家族等の理解などの家庭状況
- (3)学力、健康

以上